

## 1. 施設の利用状況に関する事項

### ①施設の利用状況

平成26年6月21日のオープンに向け、DCキャンペーンと絡めたPR活動、プレオープンによるPR活動を実施、施設の周知に努め、オープンを迎えた。オープン後も各種イベント企画の実施や広報により施設の周知に努めたのであるが、最終的なガーデンへの有料入場者数はイルミネーションを含め70,858人、予算の313,800人に比して22.5%の結果となり、日中とイルミネーションの割合は約4：6に着地した。ガーデン（展示館含む）については、植栽と広報の連携が不足しており、ガーデン有料に対してのお客様の拒否反応を払拭する十分な告知ができなかったことが主因として考えられる。ただ、イルミネーションについては、夏、秋、冬と開催したところ、お客様からは好評であり、イルミネーションを実施したことによる売上の向上及び施設の周知に関する効果が高かったことが推測される。

駐車場については、オープン後有料化となり、お客様からのクレームもオープン当初かなり頂戴したのであるが、いくとぴあ食花内の各種体験、ガーデン入園、買い物、食事等による割引設定により、クレームは沈静化したものと思われる。

直売所については、新潟の農産物を中心として新潟の食をPRする商品構成・販売活動を実施し、また、直売所独自のセール、イベントを企画・実施し集客、売上増を図っているのであるが、集客、売上とも伸び悩んでいるのが現状である。

レストランについては、当初こそ高額であるとクレームを多数頂戴したのであるが、他施設との差別化を図った運営、広報を継続したところクレームも落ち着き、売り上げも比較的堅調に推移している。

全般的には、オープン初年度ということもあり、交流センター内の各施設及びいくとぴあ食花各施設間での連携、情報共有が手探りの状況で十分ではなかったことが、集客不足に繋がった根本の原因であると思われる。年度後半にはそれらを解消すべく、定期的な会議を開催、積極的に協議の場を設け、各施設の特徴、特性を融合した企画や、それら広報の連携を実施し、交流センターエリアへの誘客に努めている。次年度以降も各施設間の連携を強化、昇華させ、交流センターエリアへの集客増、収入増を目指すものとする。

尚、施設のサービスについては、アンケートを参照すると施設自体の満足度（満足・やや満足計）は93.5%、職員の待遇についての満足度（満足・やや満足計）は96.6%と高い数値であり、また、口コミでの来場割合が高いことがうかがい知れる。オープン後トライ・アンド・エラーを繰り返し運営オペレーションを検討・実施してきたのであるが、常にお客様目線に立った運営を心掛けた結果であると考えられる。次年度以降もいくとぴあ食花では様々なイベント企画、広報を実施する予定であるが、その全てにおいて常にお客様のことを第一に考えた運営を心掛け、お客様に愛される施設となるべく努めるものとする。

### ②来場者数

	平成26年度				平成25年度				対前年比			
	花畑	レストラン	直売所	合計	花畑	レストラン	直売所	合計	花畑	レストラン	直売所	合計
合計	70,858	78,034	253,735	402,627	—	—	—	—	—	—	—	—

### ③視察等の受入れ状況

	平成26年度		平成25年度		増減		対前年比		備考
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
合計	50	813	—	—	—	—	—	—	

④団体利用について（10人以上）

	平成26年度													
	利用合計		内見学			内ガーデン			内レストラン			内マーケット		
	件数	人数	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合
合計	281	9,760	266	9,155	95%	55	1,847	20%	20	495	7%	32	1,278	11%
	平成25年度													
	利用合計		内見学			内ガーデン			内レストラン			内マーケット		
	件数	人数	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	増減*次年度より比較対象とする													
	利用合計		内見学			内ガーデン			内レストラン			内マーケット		
	件数	人数	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合
合計	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

⑤交流イベントについて

月	開催日	イベント名	交流センター入込数	いくとびあ食花全体入込数	備考
4	4/26～4/29 前半	ゴールデンウィークスペシャル（8日間）	0	60,118	交流センターオープン前
5	5/3～5/6 後半				
6	6/21.22	いくとびあ食花グラントオープン	8,472	25,028	委託事業
7	7/26.27	夏休みこどもまつり	6,692	24,676	
8	—				
9	9月21日	動物ふれあいフェスタ	3,223	11,746	
10	10/25.26	秋の収穫感謝祭	6,054	20,046	委託事業
11	—				
12	12/20～23	クリスマスフェスタ	6,376	20,874	
1	—				
2	2/14.15	にいがた食花フェア	2,514	9,789	委託事業、悪天候
3	3/7.8	春花・舞花フェア	5,576	21,117	委託事業

⑥コラボ事業について

単位：回

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
コラボ事業	9	—	—	

⑦花と緑の展示館の展示について

単位：回

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
花と緑の展示館展示	20	—	—	

⑧花畑の展示について

単位：回

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
花畑の展示	27	—	—	

⑨食と花のプロモーションイベントについて

単位：回

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
食と花のプロモーションイベント	65	—	—	

⑩外部団体主催イベントについて

単位：回

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
外部団体主催イベント	9	—	—	

①ホームページについて

	H26年度		H25年度		増減		備考
	更新回数	閲覧数	更新回数	閲覧数	更新回数	閲覧数	
合計	92	362,892	—	—	—	—	

\*いくとぴあ食花HP

2. 自主事業・利用促進

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
物販	574,876	—	—	
カフェ	398,920	—	—	
視察料	281,700	—	—	
ドッグラン	139,000	—	—	
イベント	759,344	—	—	
協賛金等	1,500,000	—	—	
その他収入	1,232,028	—	—	
合計	4,885,868	—	—	

3. 広報

媒体等	実施時期	料金	内容等
イベントチラシ	交流イベント時	製作・印刷費・仕分費	いくとぴあ食花施設内設置、市内公共施設・県内観光施設等に配布、市内全校・園配布（3回）
販促チラシ	年末	製作・印刷費	
チラシ折込	年末	折込費	
新聞出稿	オープン、夏、秋、年始	製作・出稿費	新潟日報（オープンはassh含む）
テレビ	オープン時	事業費	NSTスマスタ、BSN新潟見ナイト
ラジオ	オープン時	事業費	FM新潟
タウン誌	夏、冬	製作・出稿費	月刊にいがた（夏）、キャレル（冬）
フリーペーパー出稿	月1回	無料	とくっぴ
旅行誌	H27.3月	製作・出稿費	るるぶ
他施設とのWEBリンク	随時受付	無料（一部協賛金支払有）	
リリース	随時	無料	
パブリシティ	随時受付	無料	テレビ、ラジオ、新聞、情報誌、WEB

\*その他リーフレット、市報、HP、自主作成チラシ（いくとぴあ通信含む）、ポスター有

4. 施設の管理状況に関する事項

①会議等

1) 主な会議

単位：回

会議名	出席者	頻度	会議内容
館長会議	各施設館長及び副館長クラス	月1回	いくとぴあ食花の交流イベント戦略及び各種懸案事項の協議等
企画広報推進会議	各施設企画担当者、広告代理店	月2回	いくとぴあ食花の各種イベント企画立案、広報戦略等
担当者会議	各施設運営担当者、新潟市各担当課	月2回	各館の情報共有、イベント調整等
出店者会議	交流センター出店者、交流センター長、支配人、企画リーダー	月2回	イベント・広報検討、協定協議、各種懸案事項の協議等
運営リーダー会議	交流センター長、各課リーダー	月1～2回	イベント・広報及び運営戦略、各種懸案事項の協議等
職員全体会	交流センター全職員	年1～2回	全職員の意思統一
事業体運営会議	事業体各社事業責任者	随時	施設管理運営評価、チェック、各種懸案事項の協議等
にいがた未来代表者会議	事業体各社代表者	随時	施設管理運営評価、チェック、各種懸案事項の協議等

\*その他①：新潟市アドバイザーモクモクテ手づくりファーム木村代表を招いた戦略会議を4回（4月、5月、6月、1月）開催

\*その他②：10月より3月まで出店者、市民モニター、新潟市、指定管理者での円卓会議を3回（10月、12月、3月）開催

## ②職員研修等

単位：回

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
職員研修等	7	—	—	

## 5. その他

## ①クレーム・アンケート

単位：件

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
クレーム	144	—	—	
アンケート	581	—	—	

## ②けが・事故等

単位：件

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
けが・事故等	4	—	—	

## ③物損・施設破損等

単位：件

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
物損・施設破損等	0	—	—	

## ⑤市内産業への貢献

項目	市内割合 (%)			備考
	H26年度	H25年度	増減	
再委託業者	100	—	—	
職員	100	—	—	

## ⑥社会貢献

単位：人

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
障がい者雇用（述ベ）	0	—	—	

## ⑦ボランティア

単位：人

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
ボランティア（述ベ）	68	—	—	

## ⑧地域・関連団体等との連携

単位：回

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
連絡調整会議等	1	—	—	

以上

# 新潟市動物ふれあいセンター 平成26年度 管理運営業務報告書 概要版

新潟市動物ふれあいセンター  
館長 田中 和志

## 1. 施設の利用状況に関する事項

### ①施設の利用状況

新潟市動物ふれあいセンター（以下、ふれあいセンターという）のオープン2年目にあたる本年度は、昨年度の運営体制の未整備、不安定な人員配置、適正飼育管理の不徹底、施設・設備の不具合などの問題を大幅に改善することができた。26年6月に新潟市食と花の交流センターエリア（以下、交流センターエリアという）がオープンした効果もあり、入館者数、利用団体数、利用者の満足度など新潟市の要求水準はほぼ全て達成することができた。

本年度の新しい取り組みとして、ふれあいセンター主導による「猫の譲渡会」の運営、「アルパカ・ヒツジ・ヤギえさやり体験」の有料化、「ドッグラン」事業の運営などを開始した。

「猫の譲渡会」の運営に関しては、体制の整備や参加者の意見への対処など多くのトライ・アンド・エラーがあったが、結果的に昨年度を上回る実績を達成することができた。

「えさやり体験」の有料化に関しては、26年6月から駐車場や視察が有料化される中「えさやり体験」参加者の減少を懸念したが、「駐車場料金さらに90分間無料」サービスとともに入館者にはスムーズに受け入れていただいた。

「ドッグラン」の運営に関しては、夏季の暑さ対策、小型犬の脱柵防止、不明確な利用方法など、利用者から様々なご意見をいただきながら改善を重ね、高い実績を達成することができた。

### ②入館者数

単位：人

	H26年度	H25年度	増減	前年対比
合計	366,833	340,128	26,705	107.9%

### ③団体利用について

単位：件

	H26年度	H25年度	増減	前年対比
合計	623	491	132	126.9%

### ④視察の受け入れについて

単位：件

	H26年度	H25年度	増減	前年対比
合計	32	73	-41	43.8%

### ⑤交流(コラボ)イベント・プログラム実施状況

項目	期間	回数	人数	イベント名
イベント	4月	2	20,832	ゴールデンウィークスペシャル(8日間)、他
	5月	1	15	館長の造形遊学教室「親子de絵のひみつ発見」
	6月	1	5,548	グランドオープン(2日間)
	7月	1	4,654	夏休みこどもまつり(2日間)
	8月	1	108	「ぶたさん、いのちをありがとう」映画上映会
	9月	4	3,557	動物ふれあいフェスタ、わくわく動物お絵かきコンテスト、他
	10月	2	4,952	秋の収穫感謝祭(2日間)、ふれあい動物教室
	11月	2	67	動物の絵を描こう、ウインターイルミネーション
	12月	1	2,787	クリスマスフェスタ(4日間)
	1月	4	55	わんちゃんのおやつ作り、ふれあい動物教室、他
	2月	1	1,987	食花フェア(2日間)
	3月	2	5,490	春花・舞花(2日間)、CoCoLo新潟スプリングフェスタ
	合計	22	50,052	

⑥インターンシップ実習等の受け入れ状況

項目	H26年度		H25年度		増減	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
インターンシップ 実習等	40	290	19	155	21	135

⑦譲渡推進活動状況

単位：頭

項目	H26年度		H25年度		増減	
	譲渡	譲渡率	譲渡	譲渡率	譲渡	譲渡率
犬	34	97.1%	13	92.3%	21	4.8%
成猫	22	88.0%	15	100.0%	7	-12.0%
子猫	101	100.0%	78	100.0%	23	0.0%
合計	157	97.5%	106	99.1%	51	-1.6%

⑧猫の講習会・譲渡会への参加者数

項目	H26年度		
	申込組数	参加組数	参加人数
講習会参加実績	208	166	318

⑨多目的広場（食と花の交流センター）の利用状況

項目	H26年度		
	登録頭数	利用頭数	ドッグラン以外の利用件数
多目的広場利用実績	138	905	3

⑩ホームページについて

2) 月別推移

項目	H26年度		H25年度		増減	
	更新回数	アクセス数	更新回数	アクセス数	更新回数	アクセス数
ホームページ	217	375,699	300	47,096	-83	328,603

※6月に「いくとびあ食花」ホームページが統合されたことにより、6月からの「更新回数」欄には動物ふれあいセンターブログ更新回数のみを記載する。また6月からの「アクセス数」欄には「いくとびあ食花」ホームページのアクセス数を記載する。

⑪パブリシティ状況

単位：回

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
パブリシティ実績	70	61	9	

⑫寄付状況

単位：個

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
寄付数	3291	495	2,796	

⑬クレーム

単位：件

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
クレーム	3	3	0	

⑭事故

単位：件

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
事故	2	1	1	

⑮利用者の満足度（アンケート）

単位：件

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
アンケート	279	—	—	
利用者満足度	86.4%	81.7%	4.7%	

2. 施設の管理状況に関する事項

①動物飼育管理状況

単位：頭

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
ヤギ	3	3	0	
ヒツジ	3	3	0	
アルパカ	4	4	0	
カピバラ	2	2	0	
ウサギ	10	10	0	
モルモット	20	20	0	

②職員研修等

単位：回

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
職員研修等	11	17	-6	

③ボランティア

項目	活動人数（述べ）			備考
	H26年度	H25年度	増減	
ボランティア活動実績	156	230	-74	

3. 自主事業

単位：円

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
物販	5,499	2,210	3,289	
視察料	2,500	0	2,500	
合計	7,999	2,210	5,789	

以上

## 1. 施設の利用状況に関する事項

### ①施設の利用状況

平成26年度の利用者総数は、344日開館、6月よりのいくとぴあ食花全体オープンや駐車場有料化などの中349,079人となり、数値目標30万人に対し116%を達成することができた。また、開館年度の25年度と比すと、一日平均1,021(-18)人であり、ほぼ同等の利用者数であった。特徴的には、乳幼児を連れた方々の利用が安定し、校園の利用が447(+83)団体と拡大したことが上げられる。これらの初年度効果を踏まえると、こども創造センターの年間利用者数のMAXは35万人程度であり、「30万人」が数値目標として妥当であることが類推できる。初年度効果が薄れる平成27年度からは、今まで取り組んできた「利用者を館や企画に誘うシカケ」と「利用者が楽しみ、学び、自身を育むシカケ」と「市民との協働のシカケ」の3本のシカケをより効果的に進めることが必須であると考ええる。

アンケート調査からは、施設に対する満足度が91.4%、職員の接遇に対する満足度が93.6%になり、ともに目標数値の90%を超え、とりわけ職員のスキルアップや奮闘がうかがい知れる。また、リピーター度は67.9%となっている。

ボランティア登録数は36名、サポーター登録数は9名、サポーターズ登録数は18団体となり、順調に増加しているが、市民協働型の施設を実現するには、一層の増加とボランティア・サポーターの組織としての自立が望まれる。

クレーム・トラブルに関しては、早期発見や予防措置や迅速な対応を進めることで、25年度よりさらに減少している。

総括として、「どの利用者も楽しく豊かに遊び学べるこども創造センター」の実現を通して、「生きる力」や「共に生きる力」の育成を一層進めるとともに、新潟市内の生涯学習施設のセンター的な機能も確かなものにして行くものとする。

### ②入館者数

単位：人

	H26年			H25年			前年対比
	駐車場側	交流センター側	合計	駐車場側	交流センター側	合計	
合計	295,019	54,060	349,079	265,029	9,937	274,966	49,641

### ③視察等の受入れ状況

#### 2) 月別推移

	H26年		H25年		増減	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
合計	41	943	98	1623	-57	-680

### ④創作体験活動

#### 1) センター運営事業

	H26年		H25年		増減	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
合計	737	34,510	419	18,983	318	15,527

#### 2) 関連団体・個人との連携事業

	H26年		H25年		増減	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
合計	176	4,468	131	2,711	45	1,757

#### 3) 教育機関との連携事業

	H26年		H25年		増減	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
合計	8	218	6	441	2	-223

⑤団体利用について

1) 校園等団体利用

	H26年		H25年		増 減	
	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数
合 計	447	19,644	364	16,379	83	3,265

2) その他の団体利用

	H26年		H25年		増 減	
	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数
合 計	63	1,682	14	389	49	1,293

⑥交流イベントについて

項目	期 間	人 数	イ ベ ン ト 名	開 催 日
イベント	4月	5,597	ゴールデンウィークスペシャル	4/26～4/29 前半
	5月	10,719	〃	5/3～5/6 後半
	6月	2,326	いくとぴあ食花プレオープン	6/14
		5,361	いくとぴあ食花ランドオープン	6/21～6/22
	7月	5,983	夏休みこどもまつり	7/26～7/27
	8月	—		
	9月	2,905	動物ふれあいフェスタ	9/21
	10月	3,741	秋の収穫感謝祭	10/25～10/26
	11月	—		
	12月	3,970	クリスマスフェスタ	12/20～12/23
	1月	—		
	2月	2,520	にいがた食花フェア	2/14～2/15
	3月	4,943	春花・舞花	3/7～3/8
	合計		48,065	

⑦コラボ事業について

単位：回

項目	H26年	H25年	増減	備考
コラボ事業	37	12	25	

⑧展示等について

単位：回

項目	H26年	H25年	増減	備考
光と音のホール	13	—	—	
シンボルツリー	9	—	—	
1階その他	14	—	—	
2階その他	6	—	—	
1階・2階合同	5	—	—	
合計	47	24	23	

⑨ホームページについて

2) 月別推移

項目	H26年		H25年		増減	
	更新回数	アクセス数	更新回数	アクセス数	更新回数	アクセス数
ホームページ	287	369,913	156	60,484	131	309,429

※HPが統一され6月より「いくとぴあ食花」アクセス件数へ変更になりました。

## 2. 施設の管理状況に関する事項

### ①会議等

単位：回

項目	H26年	H25年	増減	備考
全体会議	1	1	0	
リーダー会議	17	16	1	
企画課・運営課会議	10	0	10	
合計	28	17	11	

### ②職員研修等

単位：回

項目	H26年	H25年	増減	備考
職員研修等	35	20	15	

## 3. ボランティア

登録者数： 36名

単位：人

項目	活動人数（述べ）			主な活動内容
	H26年	H25年	増減	
ボランティア活動実績	367	74	293	

## 4. 自主事業

自主事業売上

単位：円

項目	H26年	H25年	増減	備考
物販	174,578	903,190	-728,612	
視察料	54,500	0	54,500	
合計	229,078	903,190	-674,112	

## 5. その他

### ①クレーム及び利用者アンケート

単位：件

項目	H26年	H25年	増減	備考
クレーム	16	16	0	
アンケート	310	394	-84	

### ②けが・事故等

単位：件

項目	H26年	H25年	増減	備考
けが・事故等	88	52	36	

### ③物損・施設破損等

単位：件

項目	H26年	H25年	増減	備考
物損・施設破損等	2	14	-12	

以上

## 1. 施設の利用状況に関する事項

### ①施設の利用状況

新潟市アグリパークは、昨年6月28日にオープンした。本施設の大きな役割は、教育ファーム、農業の6次産業化、就農支援の3つであるが、市民に愛される食と花の施設とするため宿泊施設の運営や一般市民の農業・食育体験を促進するためのイベントの企画・実施など多彩な事業の運営を進めてきた。円滑な施設運営を図るため新潟市農林水産部や教育委員会の指導を仰ぎ、限られた予算と人員の制約の中で知恵を出し合いながらアグリパークの運営を進めてきた。26年度の来園者数は総体で221千人余りである。月平均1万8千人余りを数える。来園者数の最も多い月は8月であるが、夏期は、様々な農業体験が可能な季節であり、加えて町内会、子供会あるいはスポーツ少年団等が手ごろな施設として活用したことが推察される。その結果、当初、かなり厳しい収支予測を立てていたが、活発な営業活動を進めたことや創意工夫などを積み上げることにより赤字幅をかなり圧縮することができた。

#### ●教育ファーム関係

教育ファームでは、計画的に児童の体験を受け入れたため夏、秋はコンスタントな数字になっているが、冬期間は、作物体験との関係から体験者数が落ち込んだ。冬期間に行うべきASPの新たな開発や充実の必要性などの課題が見えてきた。

一般の体験者も同様の傾向で、6月から11月までの夏季及び秋季は4ケタの来園者を数えるが、11月に入り、急激に落ち込んでいる。農業体験をベースとしたイベントなどの実施により、集客を図ったが、天候との関係で伸びなかった。今後、冬期間でも充実できる農業体験プログラムの開発が必要である。

●食品加工支援センターでは、当初施設の認知不足もあり、受講生が少なかったが、次第に口コミや周知により受講生数が伸びてきたため当初目標の受講生の数を上回ることができた。本施設の主目的である農業の6次産業化の支援という観点からみると農業者の受講割合が約3割にとどまり、農産物加工技術の普及という点から農家の受講者の拡大が今後の課題でもある。また新製品の開発も大きなミッションの一つであるが、前提として多数の農家から加工技術を習得していただくことが課題であると考えられる。

#### ●視察関係

全国初の公的な教育ファームということもあり、県内はもとより全国から視察が相次いだ。視察団体数は、129を数えるが、全国初の教育ファームということもあり、視察団体の半分が県外からの団体である。

#### ●宿泊施設関係

コテージの利用状況であるが、宿泊の条件として農業体験がセットであるとの認識があったが、次第に一般の宿泊施設としての利用が認知され、利用客も増えてきたが、冬場に入り宿泊が落ち込んでいる。今後、宿泊機能を前面に掲げ、地域で行うイベントとの連携などを通してグリーンツーリズムの拠点機能を高めていく必要がある。そのためイベントの実施、情報発信などを積極的に行う。

#### ●直売所、レストランの利用状況

直売所は相当の人気があり、9月が売り上げのピークとなった。冬場に入り、来客数が落ちているが、単価の高い果実等が売れており売上額は確保しているとみている。レストランは冬場に入り、来客数や売上額が落ちている。特に悪天候の場合、来客数の数が減っている。イベントの開催にも関係しているとも考えられる。

### ②来場者数

	平成26年度				平成25年度				対前年比			
	体験・宿泊等	レストラン	直売所	合計	体験・宿泊等	レストラン	直売所	合計	体験・宿泊等	レストラン	直売所	合計
合計	93,926	29,683	97,610	221,219	—	—	—	—	—	—	—	—

### ③視察等の受入れ状況

	平成26年度		平成25年度		増減		対前年比		備考
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
合計	129	2,320	—	—	—	—	—	—	

④アグリ・スタティ・プログラムについて

	平成26年度													
	利用合計		幼稚園・保育園			小学校			中学校			養護・高校・大学等		
	件数	人数	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合
合計	127	7,007	25	1,149	20%	83	4,295	65%	14	460	11%	5	127	4%
内宿泊	24	555	0	0	0%	16	401	66%	4	129	17%	4	25	17%
	平成25年度													
	利用合計		幼稚園・保育園			小学校			中学校			養護		
	件数	人数	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
内宿泊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	増減*次年度より比較対象とする													
	利用合計		幼稚園・保育園			小学校			中学校			養護		
	件数	人数	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
内宿泊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

⑤一般プログラムについて

単位：人

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
利用人数	42,412	-	-	

⑥就農支援について

1) 就農相談

単位：件

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
新規就農	4	-	-	
技術研修	2	-	-	

2) 就農研修

項目	H26年度		H25年度		増減		備考
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
農業塾(実地)	8	48	-	-	-	-	
農業塾(座学)	12	102	-	-	-	-	

⑦食品加工支援について

項目	H26年度		H25年度		増減		備考
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
加工支援講座	49	432	-	-	-	-	
加工機器利用	39	149	-	-	-	-	

⑧イベントについて

月	開催日	イベント名	入込数	備考
4	—	—		
5	—	—		
6	6/28-29	オープニングイベント	5,703	委託事業
7	7/19-21	サマーフェスティバル	9,476	
8	8/22-23	こども体験合宿	66	
9	9/13-15	敬老感謝祭	6,683	
		稲刈り体験	22	
10	10/25-26	収穫祭オータムフェスタ	3,640	委託事業
11	11/22-24	ほっこりフェスタ	1,714	
12	12/20-23	クリスマスフェスタ&音楽会	1,979	
	12/28-29	冬のこども体験合宿	29	
1	1/10-12	新春イベント	1,626	
	1/17-18	昔なつかし食の体験	374	
	1/22	料理教室①	7	
	1/29	料理教室②	11	
	1/31	親子野菜クイズ大会	4	
2	—	—		
3	—	—		

⑨ホームページについて

	H26年度		H25年度		増減		備考
	更新回数	閲覧数	更新回数	閲覧数	更新回数	閲覧数	
合計	139	110,415	—	—	—	—	

⑩宿泊について

1) 宿泊者数

単位：人

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
学校	630	—	—	
一般	1,655	—	—	
合計	2,285	—	—	

2) 稼働率について

単位：%

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
コテージ7棟	24.5	—	—	
宿泊等	24.2	—	—	
総稼働率	24.3	—	—	

2. 自主事業・利用促進

自主事業売上

単位：円

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
物販	844,628	—	—	
視察料	736,000	—	—	
イベント	160,700	—	—	
宿泊飲料	2,562,636	—	—	
その他収入	262,260	—	—	
合計	4,566,224	—	—	

### 3. 広報

媒体等	実施時期	料金	内容等
イベントチラシ	交流イベント時	製作・印刷費	いくとびあ食花施設内設置、市内公共施設・県内観光施設等に配布、市内全校・園配布（3回）
販促チラシ	オープン前	製作・印刷費	
新聞出稿	オープン、年始	製作・出稿費	新潟日報
タウン誌	夏、冬	製作・出稿費	PasMagagin（夏）、にいがた情報（冬）
フリーペーパー出稿	月1回	無料	とくっぴ
他施設とのWEBリンク	随時受付	無料（一部協賛金支払有）	
リリース	随時	無料	
パブリシティ	随時受付	無料	テレビ、ラジオ、新聞、情報誌、WEB

\*その他リーフレット、市報、HP、自主作成チラシ（アグリ通信含む）、ポスター有

### 4. 施設の管理状況に関する事項

#### ①会議等

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
職員全体会	14	—	—	
正副館長会議	3	—	—	
イベント会議	4	—	—	

\*その他：新潟市アドバイザーモクモクテ手づくりファーム木村代表を招いた戦略会議を4回（4月、5月、6月、1月）開催

#### ②職員研修等

単位：回

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
職員研修等	3	—	—	

### 5. その他

#### ①アンケート

単位：件

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
アンケート	178	—	—	

#### ②市内産業への貢献

項目	市内割合（％）			備考
	H26年度	H25年度	増減	
再委託業者	100.0	—	—	
職員	86.4	—	—	

## ③社会貢献

単位：人

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
障がい者雇用（述ベ）	0	—	—	

## ④ボランティア

単位：人

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
ボランティア（述ベ）	258	—	—	

## ⑤地域・関連団体等との連携

単位：回

項目	H26年度	H25年度	増減	備考
連絡調整会議等	2	—	—	

以上